

2023年4月27日

消費動向調査結果(2023年4月付帯調査)  
～県内消費者の大型連休の過ごし方について～

本調査は、県内の消費動向や消費者意識を把握するため、県内1,000世帯を対象に、3カ月ごとに実施している

 調査結果のポイント

- ・ 旅行に前向きな人が2割を超える
- ・ 旅行をする動機として「これまで新型コロナで旅行を抑制してきたから」が4割を超える
- ・ 旅行をしない理由として「物価高が続いているから」が3割を超える

【調査の概要】

「消費動向調査」アンケート実施概要

調査時期： 2023年4月中旬～4月下旬

調査対象： 長野県内在住の1,000世帯

回答属性： 単独世帯 241世帯  
二人以上世帯 759世帯

性別 男性 50.0% 女性 50.0%  
年齢別

|       |       |
|-------|-------|
| 20代   | 2.1%  |
| 30代   | 12.9% |
| 40代   | 20.3% |
| 50代   | 23.6% |
| 60代   | 22.5% |
| 70代以上 | 18.6% |

調査方法： インターネット調査

※ 四捨五入の関係で、合計が100%にならない場合がある。

＜お問い合わせ先＞

一般財団法人 長野経済研究所 電話：026-224-0501

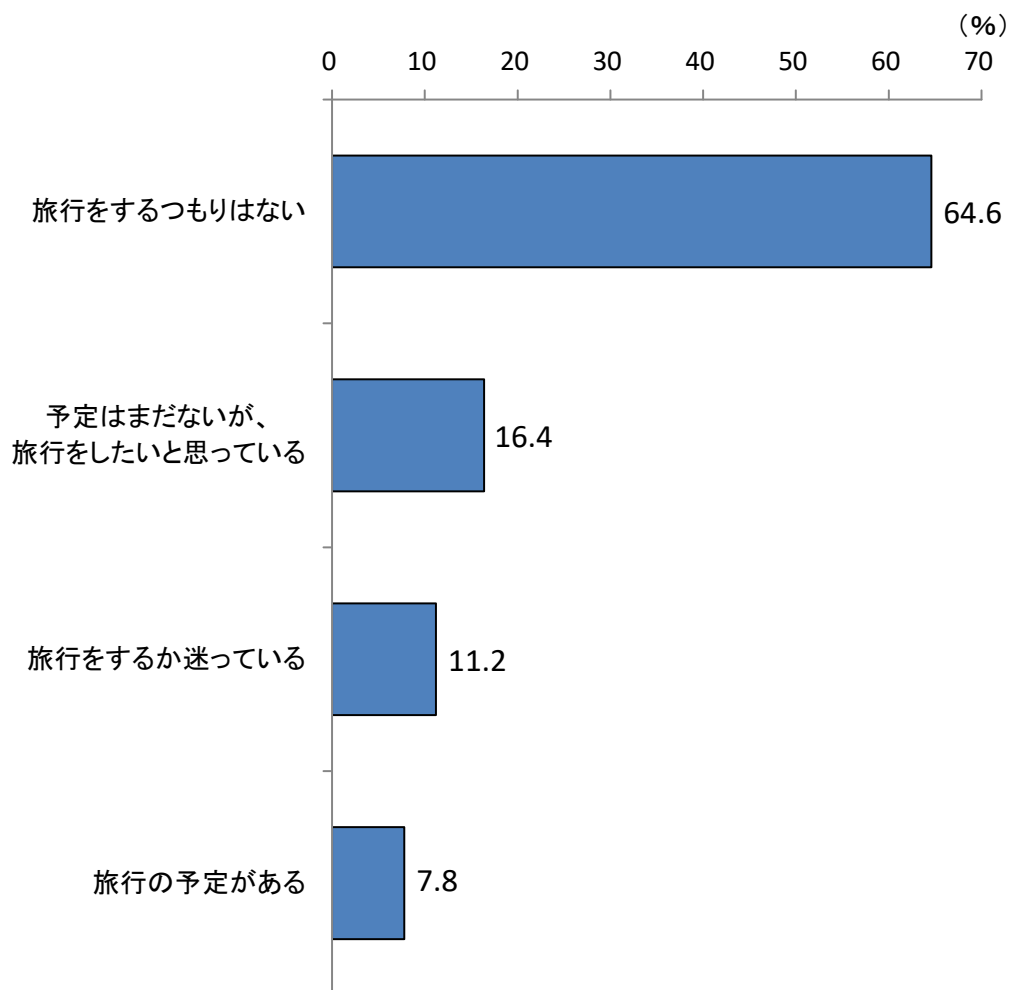
担当：調査部 主任研究員 寺嶋 孝太郎

研究員 伊東 聡史

## 1. 旅行に前向きな人が2割を超える

- 今年の大連休（4/29～5/7）の宿泊を伴う旅行の実施予定（意向）について尋ねたところ、**図表1**のように、「旅行をするつもりはない」が64.6%と最も高く、次いで「予定はまだないが、旅行をしたいと思っている」（16.4%）となった。
- 「旅行の予定がある」（7.8%）と「予定はまだないが、旅行をしたいと思っている」を合わせた旅行に対する前向きな意向は24.2%となった。

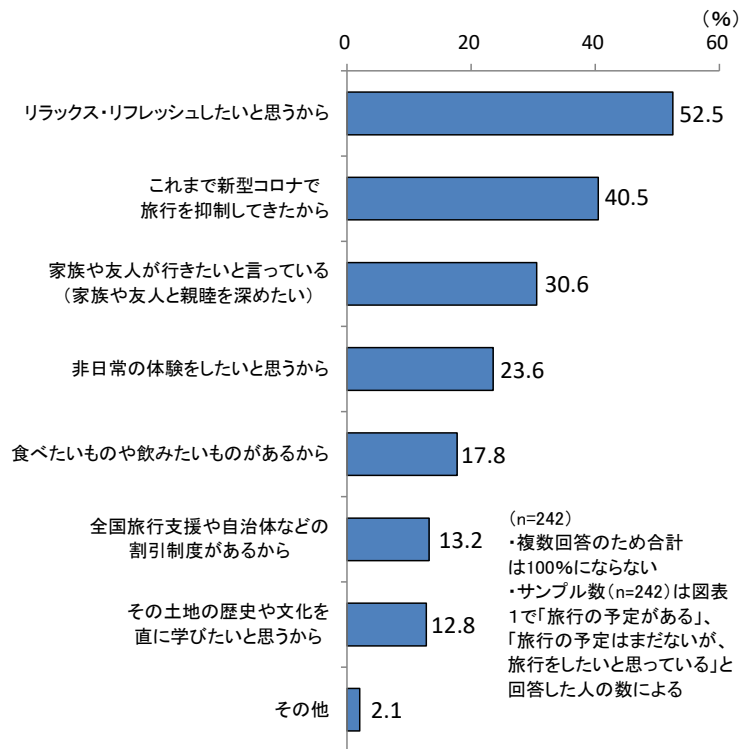
図表1 大型連休の宿泊を伴う旅行の実施予定(意向)



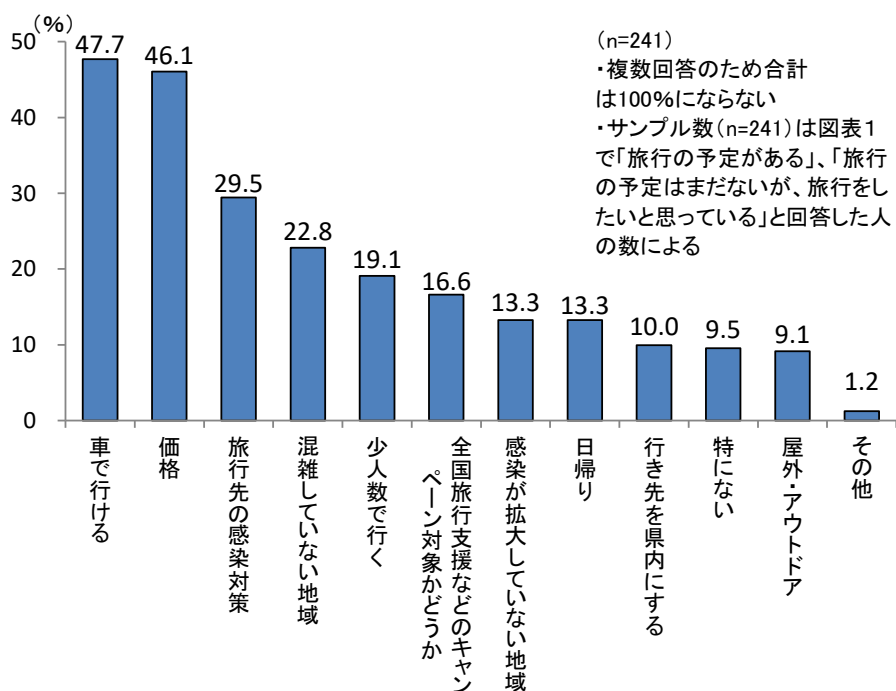
2. 旅行をする動機として「これまで新型コロナで旅行を抑制してきたから」が4割を超える

- 「旅行に対して前向きな意向」の回答者に旅行をする動機を尋ねたところ、**図表2**のように、「リラックス・リフレッシュしたいと思うから」が52.5%と最も高く、次いで「これまで新型コロナで旅行を抑制してきたから」が40.5%となった。
- 旅行する際に重視することについては、**図表3**のように、「車で行ける」が47.7%と最も高く、次いで「価格」(46.1%)、「旅行先の感染対策」(29.5%)などとなった。

図表2 旅行をする動機



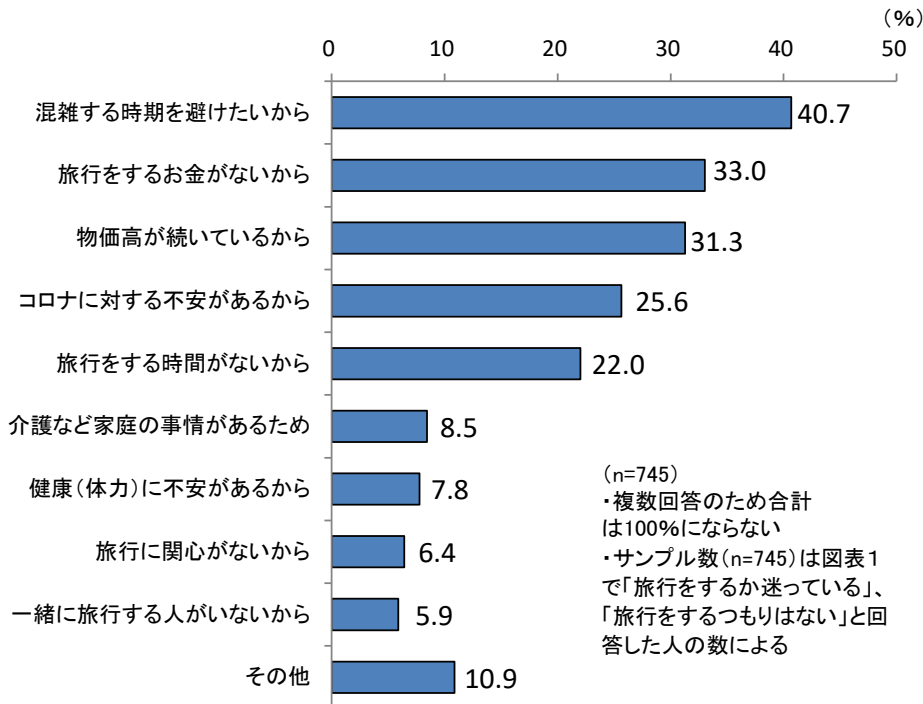
図表3 旅行する際に重視すること



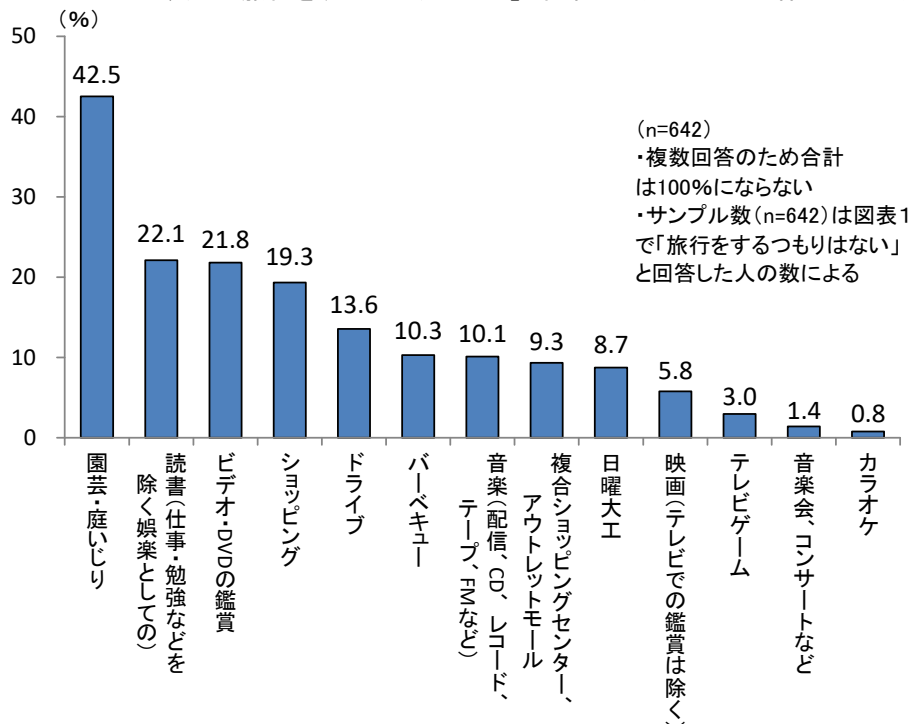
### 3. 旅行をしない理由として「物価高が続いているから」が3割を超える

- ・ 図表1で「旅行をするか迷っている」、「旅行をするつもりはない」と回答した方にその理由を尋ねたところ、図表4のように「混雑する時期を避けたいから」が40.7%と最も高く、次いで「旅行をするお金がないから」(33.0%)、「物価高が続いているから」(31.3%)と続いた。
- ・ 「旅行をするつもりはない」と回答した方に今年の大連休の過ごし方について尋ねたところ、図表5のように「園芸・庭いじり」が42.5%と最も高く、次いで「読書(仕事・勉強などを除く 娯楽としての)」(22.1%)、「ビデオ・DVDの鑑賞」(21.8%) などとなった。

図表4 「旅行をするか迷っている」、「旅行をするつもりはない」と回答した理由



図表5 「旅行をするつもりはない」と回答した方の大連休の過ごし方



以上